



「あじさい都市きたかみ」における 住民主体の移動手段の確保

北上市都市整備部道路環境課
課長補佐 高橋 正貴

 **北上市** KITAKAMI CITY

2022年3月9日

北上市の概要

- ◇岩手県の内陸部に位置
- ◇平成3年に旧北上市、和賀町、江釣子村が合併
- ◇面積 437.55km²
- ◇人口 92,373人（令和4年1月末現在）
- ◇南北方向に東北新幹線、東北本線、東北縦貫自動車道及び国道4号、東西方向にJR北上線、東北横断自動車道秋田線及び国道107号が交差する交通結節点。
- ◇内陸工業都市。製造品出荷額は、岩手県2位、東北では10位。（平成30年工業統計調査）
- ※隣接する金ヶ崎町との合計額では東北2位
- ◇誘致企業数は、200社以上。
- ◇水稻が盛んで、農業産出額の5割以上が米。
- ◇主な観光地は、展勝地公園（桜並木）、夏油温泉、夏油高原スキー場。



図 北上市の位置



展勝地公園



夏油温泉

『あじさい都市』きたかみ ～都市機能の集約と地域連携による持続可能な都市～

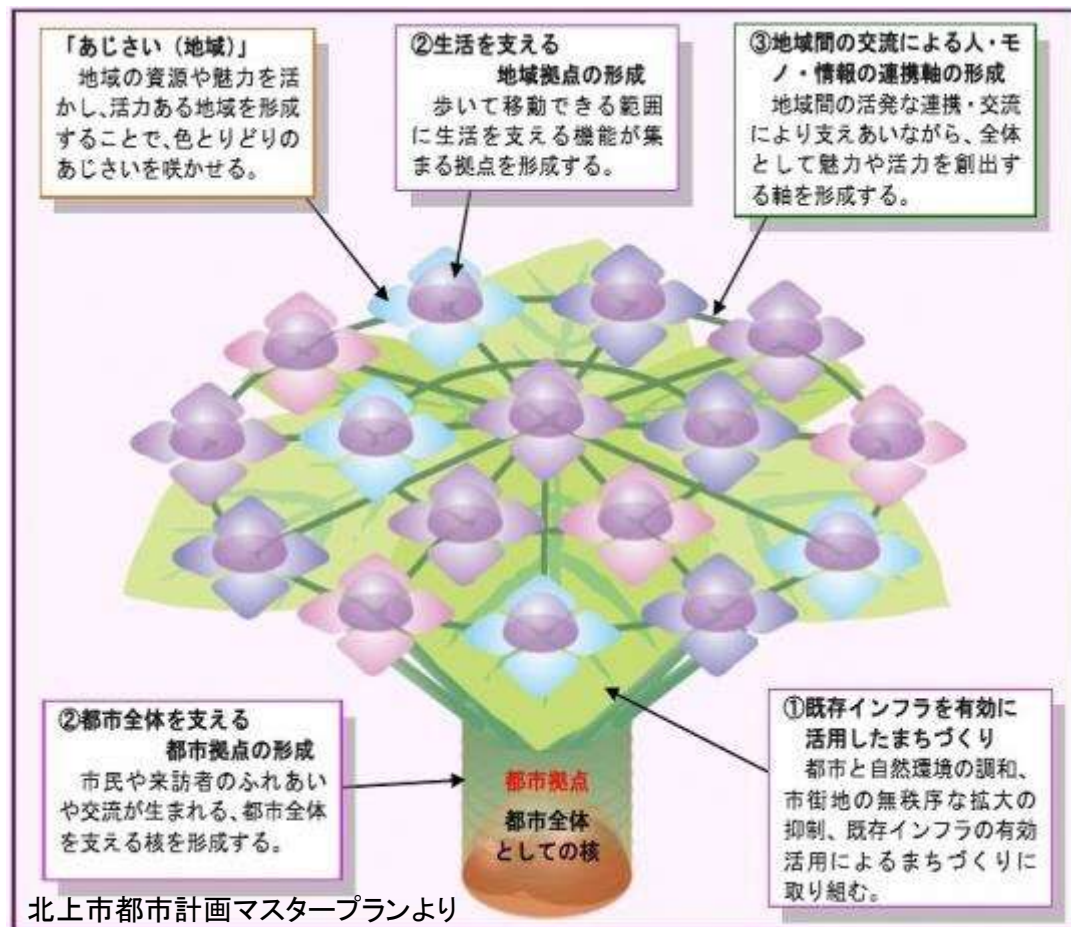
あじさい都市の定義

『あじさい都市』とは、都市を構成する地域コミュニティごとに歩いて移動できる範囲に生活を支える都市機能を集中させながら、都市全体を支える核や他地域と連携・共生していく都市のあり方。

都市を構成する地域コミュニティをあじさいの花にたとえ、それぞれの地域が独自の資源を活かして自立した地域として咲き誇り、相互に連携することによって人口減少・超高齢社会にあっても生き活きと持続的に発展できる都市の姿をイメージしたものの。

あじさい都市の要件

1. **地域コミュニティ（以下地域という）**に生活を支える**都市機能が集中する核**があること
2. 都市全体としての**核（中心市街地）**が**明確**になっていること
3. 都市の核と地域、地域と地域が**公共交通**で結ばれていること
4. **都市の核と地域**との、人、物、情報の活発な**交流**があること
5. 各地域の**自治レベルが高い**こと



あじさい都市とは**多極集中連携都市**である！

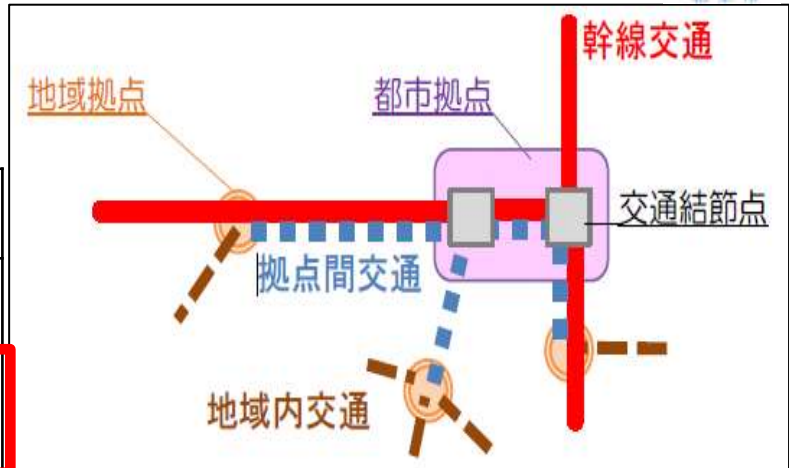
あじさい都市のキーワード
都市拠点・地域拠点・公共交通

北上市の「公共交通ネットワーク」

北上市の交通ネットワークの考え方

- 都市拠点と地域拠点を結ぶ
- 住み慣れた地域に住み続けることができる
- 地域間の交流や連携を促す

幹線交通	都市の骨格を形成する路線 (便数が一定数あり、広域を結ぶ)	<ul style="list-style-type: none"> • JR線 • 岩手県交通(株)
拠点間交通	各地域拠点と都市拠点を結ぶ路線	<ul style="list-style-type: none"> • 岩手県交通(株) • おに丸号 (コミュニティバス)
地域内交通	各世帯から地域拠点への移動を担う (主に中山間地の輸送を担う)	<ul style="list-style-type: none"> • 乗合タクシー • 自家用有償運送 • 互助による輸送



北上市内 バス路線図

凡例

緑線	市街地内	赤線	立花・口内方面
青線	市街地外	紫線	花巻・松崎方面
黄線	市街地内	黒線	金ヶ崎町方面
白線	市街地外	茶線	稲佐方面

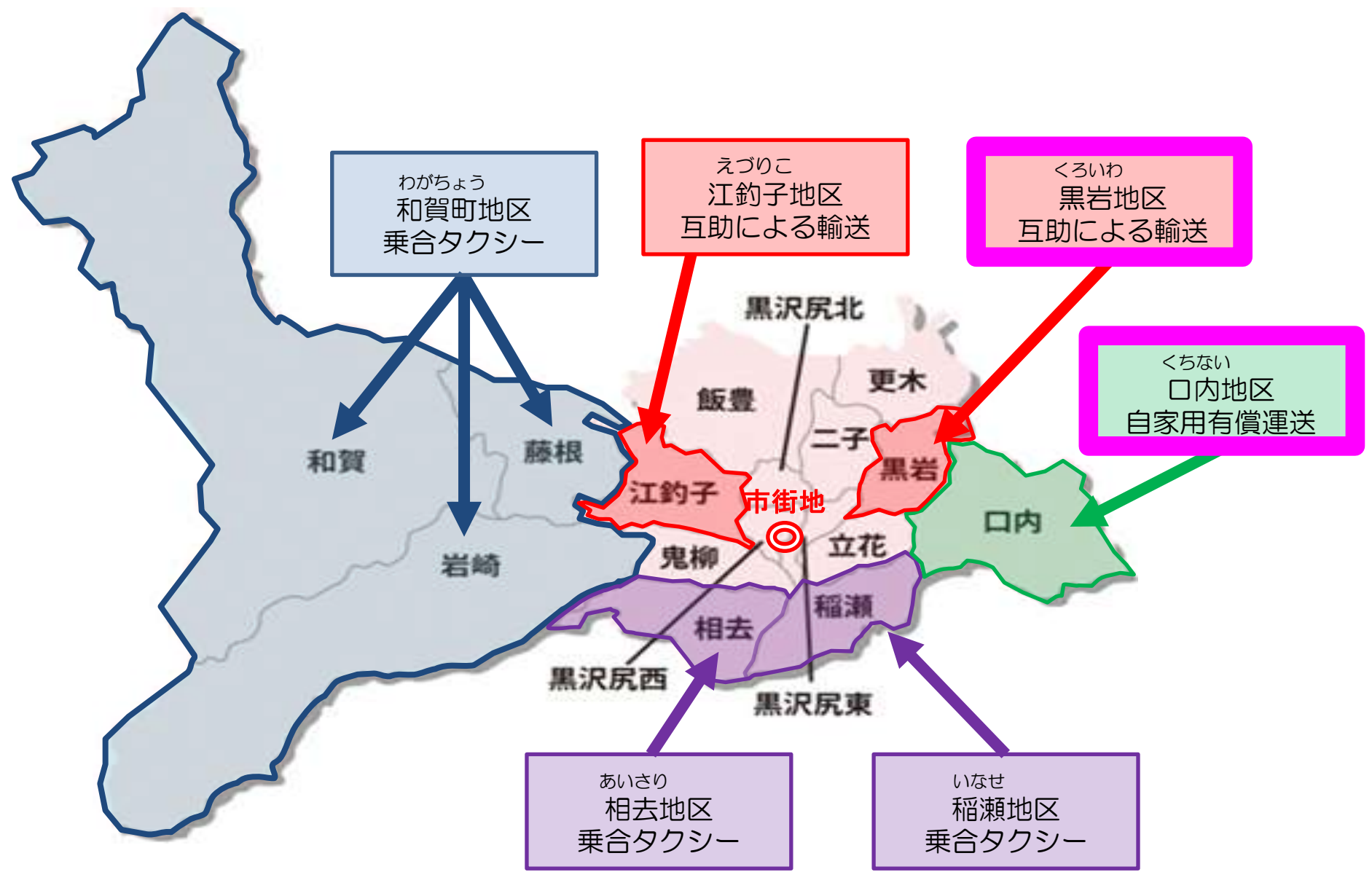


【都市拠点:2か所】

- 都市の核として北上市全体のまちの活力とにぎわいを創出する拠点
- 都市機能が集積する「中心市街地型」と北上江釣子IC周辺の国道107号沿道に位置する「商業業務型」

【地域拠点:16か所】

- 都市を構成する地域コミュニティの活性化や生活利便性の確保を図り地域活力を創出する拠点
- 地域住民の日常生活を支え、コミュニティ活動や交流を育む地域の拠り所(拠点内にすべての機能を配置するのではなく、地域内や拠点間で相互補完する)



口内地区：公共交通空白地有償運送

■社会実験から本格実施

【平成20年度】

- ・（財）都市農山漁村交流活性化機構の「山村再生プラン事業」を活用し実証運行等を実施

【平成21年度】

- ・（口内町自治協議会の役員を中心に）**NPO法人くちない** 設立（公共交通空白地有償運送の実施主体）

- ・自家用自動車有償運送運営協議会等での協議・承認

【平成22年度】

- ・地区住民への制度説明会、ドライバー講習会の実施
- ・公共交通空白地有償運送の開始（現在に至る）
（※同時に福祉有償運送も開始）

【口内地区】（R4.1月末現在）

人口：1,358人（うち65歳以上652人） 高齢化率：48%

実はこの協議（調整）がとても大変でした！



自家用有償運送出発式（H22.7.29）

■公共交通空白地有償運送のしくみ

公共交通空白地有償運送（町内型）

対象者：口内町住民



送迎先：口内町内どこでも（バス停、交流センター、郵便局、墓参り、産直センター、店っこ、敬老会の会場等） 利用料1回100円

土・日は市内指定された場所まで（往復）

送迎方法：自宅⇄町内目的地までの移動

予約方法：前日までに電話予約

精算方法：事前にチケット（100円券10枚綴り）を購入し、チケットで支払う。（市内までは距離制で1,000～1,200円）

年会費1,000円（1世帯） 利用時間帯7:30頃～17:30頃

※福祉有償運送は市街地まで運行

■利用者数（福祉有償運送も含む）

- ・平成22年度：255人
- ・平成27年度：1,230人
- ・令和2年度：1,449人



※NPOくちない作成資料より抜粋

■ボランティアドライバー登録者数

- ・現在10人
- ・ドライバーは、75歳を上限



■店っこくちない

- ・「NPOくちない」の拠点（事務所）
- ・路線バスと自家用有償運送の結節点（待合施設）
- ・JAストア廃止の対応



“店っこくちない”の待合施設



食品や日用品も販売

営業時間：月～金曜日 9：00～17：00（冬期間は16：00まで）
営業内容：食品・菓子類・日用品等の販売
利用者のニーズを聞いた商品仕入れ販売
個人商店からの委託販売
特記事項：お年寄りのお買い物、おしゃべり、お茶飲みの場

■自家用有償運送以外の活動

- ・ごしょ芋（菊芋）で作った餃子とコロッケの製造・販売
→店っこくちないに厨房を増設。ふるさと納税の返礼品にも採用！
- ・口内町地域農地・水・環境保全組織事務業務
中山間地域に対する交付金の事務業務の受託
- ・口内小学校、東陵中学校のスクールバス運行業務の受託
- ・高齢者の生活支援・見守り活動
→草刈り、除雪、庭木の剪定、建具修理、家廻り清掃等、ゴミ出し代行
頼まれたことは可能な限り引き受ける（有償：1,200円/時間）
（利用実績・H27：22件、H28：30件、H29：32件）



「ごしょ芋コロッケ」と「ごしょ芋餃子」

ふるさと納税サイトでも紹介

黒岩地区：住民による住民のための互助輸送①

■令和元年9月30日実証運行開始 利用料無料
「住民」による「住民」のための互助輸送

【黒岩地区】（R4.1月末現在）
人口：911人（うち65歳以上343人） 高齢化率：38%

北上市の黒岩地区では、「黒岩自治振興会」が主体となり、地域住民の助け合いによる無償の地域内交通の運行を開始。運行は地元のNPO法人「あすの黒岩を築く会」が担い、運行用の車両は「トヨタカローラ南岩手(株)」から無償貸与を受けた。「北上市」は計画の立案に参画。また、運行経費の補助（2/3）を行う。

■検討経過

2018.9月【地域から市に相談】

- ・バス停まで行けない人が増えている
- ・おに丸号飯豊黒岩線の経路を地域細部まで・・・
→検討開始

2018.10～2019.3月【検討を重ねる】

- ・乗合タクシー、自家用有償運送、道路運送法によらない運送（互助による輸送）の3案で検討
- ・トヨタカローラ南岩手も交え検討
→「互助輸送」に絞る

2019.4～8月【実施に向けた最終検討】

- ・地域のNPO、北上市地域公共交通アドバイザーも交え検討（並行して岩手運輸支局とも協議）
→運行開始の目処が立つ

2019年9月30日 実証運行開始

■協働の体制



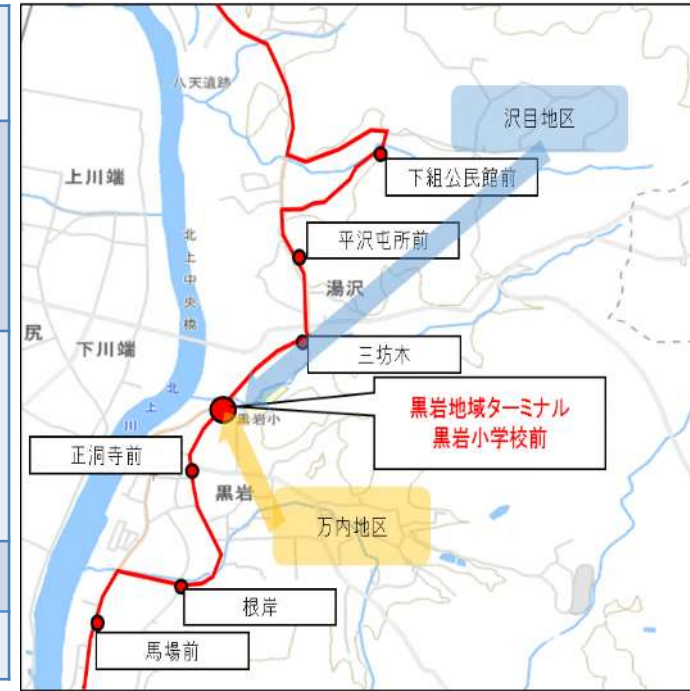
運行開始に先立って開催された車両お披露目式。多くの住民が駆け付け、その様子は夕方の県内ニュースでも紹介された。

黒岩地区：住民による住民のための互助輸送②

■運行日・運行経路・運行時間 等

運行日	<ul style="list-style-type: none"> ・おに丸号飯豊黒岩線運行日（月・木曜日） ・高齢者サロンや地域行事などの開催時は随時運行
運行経路	<p>【おに丸号飯豊黒岩線利用者（おに丸号接続）】 利用者宅周辺から黒岩小学校前バス停（黒岩地域ターミナル） 【サロン・地域行事等への出席】 自宅から各会場 ※運行経路は黒岩地区内のみ</p>
運行時間 ※おに丸号 接続便	<p>【まちなか方面行き】 黒岩小学校前バス停発8:01、10:01の便に合わせ運行 【黒岩地区もどり便】 黒岩小学校前バス停着13:23に下車した利用者を送迎</p>
利用方法	利用日前日の午後3時までに運行主体へ予約の電話
運転者	NPO法人あすの黒岩を築く会の職員が運転（実働5人）

■運行イメージ（おに丸号接続）



■市補助額

・R1：約300千円 R2：約150千円
※黒岩地区自治振興会に対する補助

■利用者数：令和元年度：159人、 2年度：363人

■黒岩地域ターミナル

おに丸号利用者のバス待合施設として、「黒岩地域ターミナル」を設置。黒岩小学校前バス停の目の前に位置し、バスの乗降にも便利。おに丸号の運行日に合わせて開館する。誰でも利用可能！

ターミナルには産直も併設。月に1度は高齢者サロンも開催されるなど地域の高齢者の居場所、生きがいつくりの拠点にも活用されている。



地域内交通に対する市の支援

■北上市地域公共交通サポート事業

◇地域において新たな公共交通実施に向けた検討を行う際のサポート

- ・勉強会等の実施
- ・運行方法のアドバイス
- ・運行計画の策定支援
- ・公共交通有識者の派遣
- ・交通事業者との調整
- ・申請書等の作成支援



■財政的な支援

(1)北上市地域内交通運行事業費補助金（交付要綱）

- ・平成30年度策定（従前の「北上市支線交通運行事業費補助金交付要綱」を見直し）
- ・補助対象事業：乗合タクシー、自家用有償運送
- ・補助対象者：地域づくり組織（自治協議会）
- ・補助金の額：運行1回当たり算定基準に基づく算定額の合計額から運賃収入等を差引いた額（上限150万円）

区分	運行1回当たりの算定基準
普通車	運行距離1.0キロメートルまでを520円とし、以降278メートル毎に80円を加算した額
特定大型車	運行距離1.0キロメートルまでを660円とし、以降217メートル毎に100円を加算した額

(2)北上市互助輸送事業補助金（交付要領）

- ・令和元年度策定
- ・補助対象事業：地域住民の助け合いによる輸送（互助輸送）
- ・補助対象者：地域づくり組織（自治協議会）
- ・補助金の額：事業で使用する車両に係る経費（燃料費、保険料、車検代等）及び事業実施に必要な経費（運転者講習費、施設費、事務費等）の2/3（上限50万円）